



## 溢れる

## 愛 とやさしさを

理事長 池上 登

ユニセフ親善大使の黒柳徹子さんが昔、難民キャンプを訪れたとき「大きくなったら何になりたいですか」と尋ねたら子供が「大きくなっても生きていたい」と答えたとのことでした。アフガニスタンやイラクでは子供や障害者の命も日々脅かされており、この話を聞いた時は身につまされる思いがしました。

地球上では誰もが平和を願っているのに争いが絶えず、どんな時でもみんな大きくなることや生きていくことに一生懸命なのです。ところが成長してまわりのことがわかると急に過去の歴史的な争いを思い出し憎悪が芽生え、再び争いに参加し、命を捨てる結果になるのです。

これを止めるのは宗教や人種の違いを越えて小さい頃から積み上げた「人を信ずる心とやさしさ」「人への愛」しかないのです。けなげに生きる難民や障害者にとって本当に必要なのは食料や薬、水などよりむしろ敵、味方を問わないギョッと抱きしめる温かい手と他人を思いやる心なのです。

このようなことは平和な日本でも言えることです。食べる物も着る物も溢れているのにやさしさに欠け、いじめ、自殺、無関心、登校拒否などが広がっています。自分のことしか考えず他人の命さえ粗末にする風潮は決して許すことはできません。そんな中で障害をもつ人の公平なやさしさは何よりも大きな宝物です。家族や周囲の人が風邪でも引くとそっと近づき顔をのぞきこんだり、心配そうに熱を調べる仕種をしたりします。何か手助けすることはないかと周囲をウロウロしたりします。この姿こそ人を信じ、愛に満ちた行動の1つなのです。こんなやさしい人たちを邪険に扱ってよい筈はありません。これからの社会は誰もが人として対等な立場で関わらねばなりません。この対等に関わるということは言葉で言うのは易いのですが人間全体に対する深い畏敬の念がないと成り立たないのです。相手を見下し「やってやる」という思い上がりがあると対等ではなくなってしまうからです。人が人と対等になるためには優越感や年齢経験などを意識しないで付き合うことです。



家庭には家族がいて施設には職員がいます。いずれも躰や指導をする立場ですから



### 第五のみんなより一言

いろんな仕事をしてきました。  
第五はとて素晴らしい所です。  
就職につきました。  
増田 真基

やいづの廃床チーム、  
藤板の廃床チームで  
きのこがんばった。  
渡邊 幹理

仲間と一緒にびく石や九段市場に  
行ったこと、それに北高校の地域交流も  
よかったのでまたやりたいです。  
これからがんばりたいです。  
鈴木 克明

市役所実習に  
いきました。  
森下 浩希

みんながんばれ。  
ミ三角がんばる  
石田 光利

実習と九段市場、おでんのはこおりは  
たいへん喜びがあったこと、びく石のついで  
土づくりをきりぎりすにやってきました。  
八木 里子

就職したい。  
朝部へ行ったら反響つくります  
丸山 亘行

みつ葉の実習を  
がんばりました。  
柴 智子

プラモデル袋入れを  
がんばりたいです。  
東部へ行っても頑張ります。  
池田 幸世

みつばがんばる。  
池田 真基

第一すみれでがんばる。  
みつ葉がんばりました。  
バスでカラオケうたいました。  
杉本 敦美

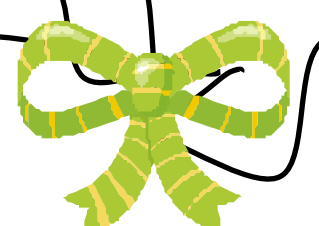
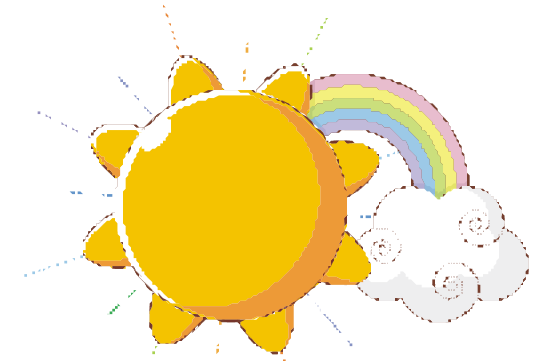
みつば、コンツナ  
がんばりました。  
芦澤 司

みつば、コンツナ  
第五すみれさいごです。  
栗松 成樹

りょこう  
たのしかったです。  
田辺 博康

野菜作り  
がんばりました。  
件野 美智男

いろいろおちいでが  
たくさんありました。  
さいごに第五のみんなと  
くうこうやり、こういいたこと。  
村松 篁子



対等の立場に立てないように思いがちですが決してそんなことはありません。良い指導、良い躰は愛を込め、甘えやわがまを許さず正邪善悪などを明確に示せばよいのです。それを「何回言ってもわからない」と叱ったり、体罰を加えたりするのは対等ではなく大人の横暴や身勝手であり虐待に当たるのです。何回言っても理解できないのは指導をしている側が悪いのです。わかる方法でできるまでくり返すなど、まわりが考えるべきことなのです。何かができるためには、わかる方法でできるまで希望を失わず努力を続けることです。

叱るとは、叱られる者に叱る者のわからせられない悲しみを伝えることです。教える力のない自分の悲しさを伝えることであり、同様に誉める事は教えることができた喜び、わかってもらえた嬉しさを相手に伝えることです。

これからは、生活も仕事もその基本に命の大切さを据え、叱るも誉めるも溢れる愛とやさしさを込めることが大切です。すみれの利用者もまわりの人も純粋な心をもつ一人一人に恥じない生き方が求められていると思うのです。



# カーブスさん

# ありがとう☆

“女性だけの30分フィットネス”のカーブス様より、食料品の寄贈がありました。缶詰や乾物、調味料などたくさんいただきました。調理実習など休憩のおやつなどで活用しました。ありがとうございました。



Thank You

## 第五職員より

# “みんなへ”

皆さんは「食べず嫌い」という言葉を聞いたことがありますか。その言葉の通り、食べもしなうちからおいしくないとか苦手だと決めつけてしまうことです。確かに昔、それを食べて嫌な思い出やにがい経験をして懲りてしまったことがあるかもしれません。しかし、よくよく考えてみるとこれはチャンスです。「もう一度食べてみよう」とか「食べたことがないけど挑戦してみよう」というあなたの勇気さえあれば嫌いなものが好きな物に変わるきっかけになります。これはたとえですが仕事面でも同じことが言えます。やったことのない仕事は不安だらけです。でもあえて挑戦してみてください！体験してみてください！きっと、あなたの「自信」という力になっていくはずですよ。

第五すみれのスローガン「Let's try...  
忘れないで下さいね。  
サービス管理責任者兼副所長  
今野 智子

一緒に「笑ったり」「考えたり」時には「怒ったり」「泣いたり」しながら働けてうれしかったです。ありがとうございました。どこにいても、みんなのことと思っています。

就労移行支援担当主任  
長谷川 道雄

みんなの笑顔を見るたびに、たくさんの勇気をもらいました。これからも頑張りましょう。就労継続支援 B 担当主任

山田 浩子

第五すみれの家卒業しますが私はどこの施設に行ってもすみれの家の職員です。「さよなら」ではなく「またあいましょう」で新しい所でも利用者一人一人が輝けるよう支援を行っていきます。よろしくお願ひ致します。

指導員 池谷 治朗

今日ほど価値のあるものはありません。今日、悲しくつらくたくさん涙が流れてしまった日としても、あなたが今日、そこにいる。それが何より価値のあることです。一日一日を大切に感謝しながら、健康に気を付けてこれからの人生を歩んでください。

指導員 望月 華江

「堅次郎さん、これ知ってる？」  
「堅次郎さん、昨日はこんなことしたよ。」など、この1年みんなと一緒に仕事をする以外でもたくさん楽しい会話もできました。私にとってはかけがえのない思い出です。これからも協力して仕事に取り組み、楽しいすみれの家の生活を一緒に過ごして行きましょう。

事務局兼指導員  
鈴木 堅次郎

2年間、皆と一緒に仕事が出来た事を嬉しく思います。たくさんの思い出をありがとう！これからもそれぞれの道に向かって元気に羽ばたいて下さいね。応援しています。

指導員  
鈴木 幸枝

みんなの元気なあいさつにパワーをもらい続けた1年間でした。ありがとうございます。4月からも、色々な事に興味を向けて、チャレンジして下さい。

指導員  
野上 百合子

# 第五すみれの家から 新しい出発へ



第五すみれの家所長 北野八一次

すみれの家のパンジーやチューリップが咲き始めました。  
3月は1年間のまとめの月になります。この1年間を振り返ってみると、JAまんさいかんへは年間を通して花や野菜の苗を出荷することができました。お店ではお客さんへの対応や挨拶も元気な声で言える人が増えました。

他の仕事でも織り物やみつばの選別、ピンチの組立て、メール便や袋詰めやラベル貼り等もがんばって働きました。また、農園、びく石に出かけての体験活動もたくさん行いました。

就労移行のグループは、市役所や図書館、大学、老人ホーム、そば店、製茶会社、家具日用雑貨販売店、紙器会社等での職場実習をがんばりました。おかげで就職できた人が4名になりました。

4月からは東部、北部、南部の三事業所にわかれますが、第五すみれでの経験を生かして就労する力をさらに高めるために新しい出発にしましょう。



# 第五すみれの家

Goodbye



# 卒業旅行 | N伊勢神宮



いざ  
=出発=



楽しい旅行にしましょう  
と所長のあいさつ

伊勢神宮に着いたら

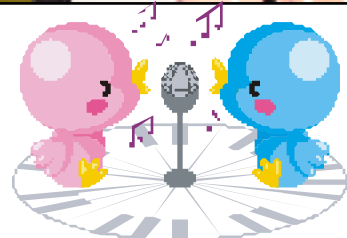
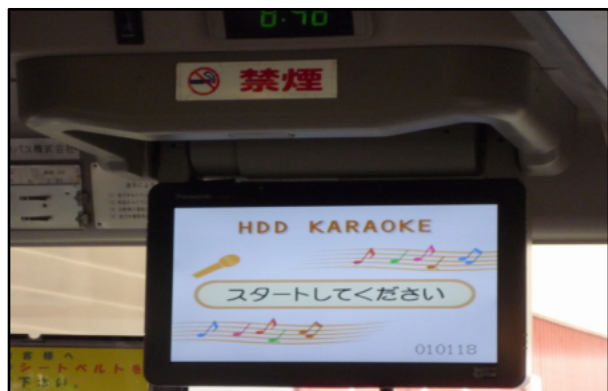
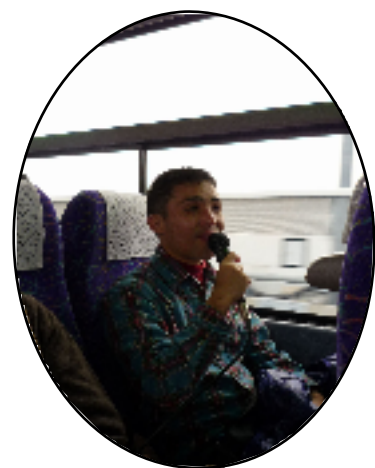
何をお願いしようかな



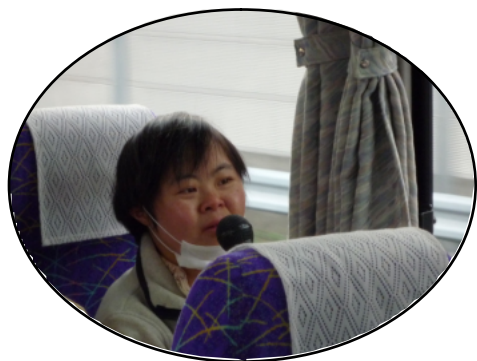
# みんなの笑顔は最高です！



景色を楽しみながら  
日頃の音楽指導の  
成果のお披露目です



## ジャンルは何でも来い！明るい歌声



# パワースポット☆ 伊勢神宮到着！！



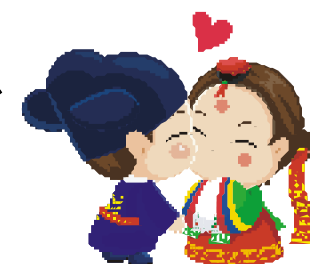
神馬に会えるのは幸運だと言われている。  
この日は第五すみれの皆を迎えてくれました。



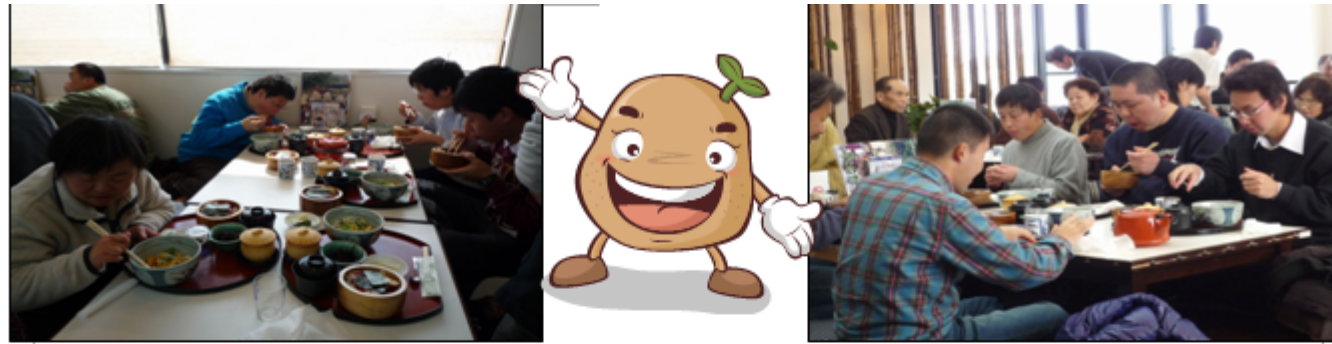
## =神馬とご対面=

これからも苦しいこともあるけれど  
神馬のように駆け抜ける！

私達は心と心で繋がっている！



# お食事TIME



おいしかった



伊勢うどんと  
手こね寿司



ぶらい  
おかげ横町  
探索中



あっちにも行ってみよう！



たくさん人がいるなあ。



体験すること  
すべてが  
自分自身の  
財産です。



## 思い出はみんなの宝物 第五の仲間達と楽しみました。

2010年4月1日より第五すみれの家がなくなり、これからは北部すみれの家、南部すみれの家、東部すみれの家の三事業所に分かれます。第五すみれの家がなくなるにあたり、広報すみれ号外として第五すみれの家特集を組ませていただきました。今回の号外が皆様の思い出という名の財産になればうれしいかぎりです。第五で得た財産はきっとこれからの生きる道を金色に輝かすものだと思っています。辛き時も悲しき時もその財産はあなたの心を支えてくれるでしょう。

先日、北国の木を見ました。北国の木は年輪がはっきりとしているそうです。冬の寒さをじっと耐えて、そうして年輪が増えていきます。そうやって育った木は強く丈夫に成長します。人間も同じです。悩んだり、苦しんだりして強くやさしくなれると私は思います。だからどんなことがあっても負けないで。これから色々な経験がゆっくりに増えていきます。たったひとつの奇跡のかけらを抱きしめながら...。どれくらい時間がかかるかわからないけれど、でも時間はたくさんあるのだから誰もが持っている見えない奇跡の翼で自分自身の夢の場所を目指してください。

また会う時はお互いに胸を張って会えるように成長していよう！約束です。

= 広報担当 K.S =

